

21 世紀水倶楽部見学会企画

シリーズ：優れた下水道技術を学ぶ見学会

令和元年度第 2 回：地域防災と下水道の役割

- 川崎市加瀬水処理センター防災避難広場と渋川雨水貯留管 -

○ 日時：令和元年 11 月 7 日（木）13：00～17：00

予備日：令和元年 11 月 14 日（木）13：00～17：00

（天候により渋川貯留管の見学ができない場合も想定されるため、予め予備日を設定しています。）

- プログラム
- | | | |
|-------|---|---------------------|
| 13:00 | ～ | 集合（川崎市加瀬水処理センター会議室） |
| 13:15 | ～ | 施設概要説明 |
| 13:50 | ～ | 加瀬水処理センター見学 |
| 15:00 | ～ | 渋川ポンプ場へ移動（徒歩 20 分） |
| 15:30 | ～ | 渋川雨水貯留管概要説明 |
| 16:00 | ～ | 渋川雨水貯留管見学 |
| 16:50 | | 終了（バスで武蔵小杉駅へ） |
| 17:30 | | 交流会（希望者のみ） |

○ 見学会概要：

自然災害が頻発しており、地域防災における下水道の役割の重要性が改めて認識されています。川崎市加瀬水処理センターは密集市街地に立地しており、施設上部にはゲートシャワー、放水銃等再生水を活用した防災避難広場が整備され、地域住民主体の防災訓練や植樹が行われる等、地域に溶け込んだユニークな防災施設として活用されています。

また、水災害の増加により下水道の浸水対策の重要性が増しており、雨水貯留管の整備が全国的に進められています。渋川雨水貯留管は、鶴見川支川矢上川に流入する渋川の地下 50m に建設された直径 10m、貯留能力 14 万 m³ の大規模貯留管で、地域の浸水解消に大きな役割を果たしています。今回見学会では川崎市のご協力により、地震対策と浸水対策について 2 つの施設を見学し、地域防災における下水道の役割について考えます。

○ 募集人員：20 名（21 世紀水倶楽部会員限定）

○ 参加申込：ホームページの見学会企画の申込欄から申し込んで下さい。賛助会員の方はお名前の後に会社名もお書き下さい。

○ 申込期限：10 月 7 日（月）

○ その他：見学の詳細については、改めて参加者にメール連絡をさし上げます。見学会終了後に武蔵小杉駅近辺で希望者による交流会を予定しています。なお、本見学会の参加は会員に限定されています。

今回見学会担当：竹石、阿部